

## ICTを活用したトレーサビリティの導入（三重茶農協）

県では、平成28年3月に三重茶農業協同組合との連携により、「伊勢茶トレーサビリティシステム」を開発しました。

このシステムは、茶農家の皆さんが、スマートフォンやタブレットから、圃場位置の自動入力、農薬散布や肥料投入などの作業履歴を簡単に入力することができ、それを三重茶農業協同組合が一元管理することで、流通販売事業者や消費者の方からの問い合わせ等に対応することができます。

また、生産履歴を適切に記録・保存することで、産地におけるJGAPの認証取得を容易にしています。

産地レベルでの導入としては「全国初」であり、伊勢茶の安全・安心の確保、伊勢茶ブランドの確立につながるものとして、大いに活用が期待されるとともに、今後は県域での取組拡大、東京オリンピック・パラリンピックでの活用を目指したJGAPの認証取得の促進、ビッグデータの活用による生産性向上技術の開発等に取り組んでいきます。



(モバイル操作画面)



(情報の流れ)